



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 332

August 2018

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館 19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

暑中ご挨拶

会長 栞田 義一

猛暑の日々が続っていますが、会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。お見舞い申し上げます。今年の梅雨は豪雨とともに終わり、その後は連日の猛暑日、局地的な豪雨、これまでにない台風の進路、異常な気候にただただ嘆息の毎日です。この異常気候は日本のみならず、特にヨーロッパでも熱波が顕著なようです。ドイツからも35度を超える高温と、それによる干ばつの被害が連日報じられています。ライン河をはじめ多くの河川や湖沼で水温上昇での酸欠による魚類の死、藻類の異常発生と遊泳の禁止、水位低下による船舶航行の危機等々。干ばつによる近年にない穀物被害、飼料不足による牧畜業への影響、森林火災等々。異常高温による熱中症などの人的被害に加え、ドイツでは様々な被害が生じているようです。

気候変動による全地球的な高温化が警鐘されてすでに久しいですが、今夏の異常高温、異常気象を一過性なものにとらえずに、気候変動を生み出す原因について、気候変動のもたらす影響について、改めて熟慮しなければならないでしょう。

この異常高温はまだまだ続くようですので、くれぐれもご自愛のうえ過ぎされますように祈念いたします。

お知らせ

神戸日独協会では気象警報の発令、交通機関の運休によるドイツ語講座及びドイツ文化教室の休講措置を講じています。

協会主催の行事・催し・各種活動の開催についても、今後講座・教室の休講措置に準じて扱わせていただきます。

催しの開始3時間前の時点で、兵庫県南部・阪神地区に「暴風(雨)警報」「大雨警報」が発令されている場合は、中止あるいは延期します。詳しくは10ページをご覧ください。

ドイツ家庭料理講習会

第1回ドイツ家庭料理講習会に参加して

会員 森田 智津子

久しぶりの料理講習会に参加しました。当日は長く続いた雨も上がり、お天気にめぐまれました。今回のメイン料理は「鶏肉の煮込みライス(Hähnchenfrikasse)」、サイドは「きゅうりのサラダ(Gurkensalat)」、デザートは「レモンのケーキ(Zitronenkuchen)」でした。教えて下さった先生はドイツ菓子のマイスターをお持ちのラッハマン早希子さんと北川玉恵さんでした。今回は5名づつ4班でした。

どなたにも簡単にできる家庭料理とのことで、手順の説明を前に並んで聞き、鏡に映った真上からの様子を眺め、冷蔵庫で冷やす時間のかかるサラダからスタートしました。

次にオーブンで焼くケーキづくり、ご飯を炊き、鶏肉を鍋で炊き皮を取り、6種の色とりどりの野菜を軽く炒め加え、生クリームと卵黄をからませ、ご飯にかけ出来上がりました。そのつどちゃんと聞いたつもりなのに、私の班はなぜか調理台に材料が残ったり、料理に使う卵の数が合わなかったり、いくつかのハプニングが起きました。それでもなんとか出来上がりました。ドイツでは鶏肉は骨がついたまま売られているので、味付けのコンソメは使わないとか、お話も楽しかったです。

いくつかの失敗もメンバーで「印象に残ってよかった。勉強になった」との前向きでとらえることに。メインの食事の後はおいしい紅茶とともに、レモンの香りのすてきなケーキをいただきました。次回も参加したいです。

第2回ドイツ家庭料理講習会 開催のお知らせ

7月にスタートをしました今年度のドイツ家庭料理講習会シリーズ第1回目は好評のうちに終了することができました。ご参加の皆様には、ありがとうございました。

引き続き、第2回目の講習会も、ラッハマン早希子さんと北川玉恵さんのお二人にご指導いただきます。ドイツ菓子のマイスターをお持ちのラッハマン早希子さんが作るお菓子はドイツの伝統的なレシピで、前回のレモンケーキの香りがさわやかでとても美味しかったと大好評でした。今回も多くの会員の皆様、また、お知り合いの方々にご参加いただきますようご案内いたします。

第2回目のデザートは、サクランボソースのババロアを教えてください。

メインメニュー、サイドメニューは下記に記載している通りです。

ラッハマン早希子さんと北川玉恵さんとのコンビによる、ドイツ家庭料理講習会にぜひご参加をお待ちしています。

◇日 時： 2018年9月9日(日) 13:15-17:00(13時までに集合してください)

◇場 所： うはらホールの料理教室(JR住吉駅すぐ南の東灘区民センター8階(078-822-8333))

◇参加費： 1200円(会員は1000円)と材料費

材料費の概算は、追って参加者にお知らせします。

☆メニュー：メイン Lachs-Kuchen-Wrapper サーモンのパイ包み

サイド Bohnen suppe いんげん豆のスープ

デザート Bayerisch Crème mit Kirsch sosse ババロア、サクランボのソース添え

募集人数：24名

お申し込み：参加ご希望の方は、8月27日(月)までに、神戸日独協会事務室まで、電話・FAX・メールにてお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。参加費・材料費は、当日現地でお支払いください。

当日、エプロン、タオル、レシピ(後日参加者に送付)と筆記用具をご持参ください。

ドイツビアフェスト2018報告

これまで経験したことのない進路をとって台風が近畿地方に接近してきた7月28日に「ドイツビアフェスト2018」を開催しました。協会では前々日から神戸地方の3時間予報を注視し参加者の安全を確認した上で開催しましたが、悪条件にもかかわらず多くの会員、市民の方々に参加していただき、gemütlich な一夜を過ごせました。ありがとうございました。

ドイツビアフェスト2018に参加して

ドイツ語文法(G1)コース 杉本 正樹

ドイツビアフェストに初めて参加しましたので、感想を述べさせていただきます。7月28日台風12号が接近する中、開催されるのかどうか不安でしたが、お店ロインに行ってみるとすでに大勢の方が集まっておられました。受付で歌詞集を配布していただき、着席すると間もなく栢田先生のお挨拶があり、次いで「乾杯の歌」(Ein Prosit der Gemütlichkeit)でフェストの開始です。私はこの4月からドイツ語文法のコースをはじめたばかりで、歌詞を発音するのもやっとでしたが、この愉快的な歌を歌っているうちに周りの方々とも打ち解けて、何かすごく楽しい気分になりました。その後、平野さんのダイナミックなアコーディオン演奏をバックに皆で歌唱が続き、ときにはダンスも交えて楽しい時が流れていきました。私がとくに感心したのは、「クフシュタインの歌(チロルの真珠)」(Die Perle Tirols)のパートで、バイエルン・カペレ大阪の岩島佳子さんが素晴らしいヨーデルと素敵な歌声を披露してくださいました。

私が知っている曲はサウンドオブミュージックで歌われた「エーデルワイス」(Edelweiß)や宝塚歌劇で有名な「白いリラがまた花咲くとき(すみれの花咲く頃)」(Wenn der weiße Flieder wieder blüht)などごく一部しかなかったのですが、大変楽しむことができました。お店のビール、ワインもおいしくいただくことができました。

私は神戸日独協会の活動が単にドイツ語のレクチャーに留まらず展開されていることに大変感銘を受け、本当に参加してよかったと感じました。今後も神戸日独協会でのこのようなドイツ語圏の文化や地理、歴史を紹介する活動を期待したいと思います。またそうした活動に積極的に関与できればと感じました。ドイツビアフェスト2018を企画、準備し、実行して下さった皆様全員に感謝申し上げます。

ドイツ語談話室

第176回ドイツ語談話室

日時：2018年7月21日(土) 14-16時

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：日本とドイツの医師の医療行為

今回の司会は井川伸子さんが担当し、医者に診てもらおうとき、どの医院や病院に行けば良いかよく迷う事を話された。どうした基準で医院・病院を選べばよいかは難しい。都市部では、いわゆるホームドクターがいないので、評判やよく流行っているかで判断して決めるしかない。

次に参加者から多くの意見が出された。その一部を下記紹介する。

—最近の医師は、患者を診るよりも、パソコン上に出る検査データばかりを見て診察をする。昔の医師は、患者に触診も行い、患者の訴えをよく聞いて判断をしていた。

—検査機器の技術進展は著しく、特に血液分析やCT、MRI分析の技術革新が目覚ましい。この事によってより正確な診断が出来るようになってきたが、医師が患者を診て診断する能力が落ちてきている。また、新しい機器は莫大な経費が掛かり、医療費が暴騰してくる。

—日本では多くの企業が従業員に定期健康診断を義務づけている。ドイツでも大企業では同様のシステムがあるようだが、義務ではなく推奨であるようだ。

—日本では、高齢者に無償の一般的健康診断を提供して、予防医療を計っている。

—ドイツでは、公的健康保険制度に加えて、私的医療保険制度が選択である。私的保険だとすぐに診てもらえるが、公的保険では受診を待たされると言った事もあるようだ。

—日本の医師は、大した病気でなくてもすぐに薬を処方するし、患者もまたそれを受け容れる。概して日本人は薬好きである。ドイツ人やスイス人は、まず、風邪ひき程度では医者には掛からないで自分で治すのが普通であるが、日本人は安心の為すぐに医者にかかり薬をもらうのが普通。

—ドイツでの経験であるが、検査や治療をベッドの上で受けた時、周りにカーテンや目隠しは全くなく、広々とした開放空間で検査・治療が行われ、びっくり仰天した事がある。これは日本とドイツの慣習の違いからだろうが、とても驚いた。

—百歳の母はほとんど医者にかからない。鍼や指圧で治す。日本人は本来、自身の体調をよく知り、自身で不調なところを治していた。今はそうした能力が無くなって、すぐに医者に掛かったり、薬をもらって安心している。

—医者にはめったにかからない様になっているが、どうしても診てもらいたいとき、どの医院に行けば良いかの判断に迷う。

—日本で虫歯治療のため歯医者に掛ったが、わずかな治療に3日もかかった。ドイツなら普通一日だろうが、ずいぶん時間を要した。

今後のドイツ語談話室の予定

第177回 2018年8月18日(土) 14-16時 テーマ：日本人のドイツに対する愛着
(参加者は各自ビールのおつまみをご持参ください。)

第178回 2018年9月15日(土) 14-16時 テーマ：占星術 (ホロスコープ)

Deutsche Gesprächsrunde

Protokoll der 176. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 21. Juli 2018, 14 bis 16 Uhr

Thema: Ärztliche Versorgung in Japan und in Deutschland

Dieses Mal hatte Frau Nobuko Ikawa die Gesprächsleitung und erzählte, dass sie im Krankheitsfall immer Schwierigkeiten hat, einen geeigneten Arzt zu finden. Nach welchen Kriterien soll die Klinik gewählt werden? Das ist nicht einfach. In Großstädten in Japan gibt es kein Hausarztsystem, man wählt die Ärzte nach deren Ruf.

Bei der Gesprächsrunde kam es unter anderem zu folgenden Wortmeldungen:

-Ein Teilnehmer findet, dass Ärzte heute meist nur auf die Daten im PC sehen und nicht mehr auf den Patienten. Früher haben die Ärzte die Patienten mit Abtasten etc. untersucht.

-Ein anderer Teilnehmer erwähnte, dass die Technologie in der Medizin heute sehr fortgeschritten ist, besonders bei der Blutanalyse, bei CT und MRI. Dank dieser Technologie ist die Diagnose bestimmter Krankheiten viel genauer geworden, aber die Fähigkeit der Ärzte, die Diagnose am Patienten selbst vorzunehmen und diese selbst zu behandeln, hat abgenommen. Auf Grund der neuen Technologien sind auch die Behandlungskosten sehr gestiegen.

-Ein weiterer Teilnehmer erwähnte, dass viele Unternehmen in Japan ihre Angestellten jedes Jahr verpflichten, sich einer Vorsorgeuntersuchung zu unterziehen. Große Unternehmen in Deutschland haben ähnliche Systeme, Untersuchungen sind aber in der Regel keine Pflicht und werden nur empfohlen.

-Ein Teilnehmer erzählte, dass in Japan ältere Leute (über 75) Vorsorgeuntersuchungen kostenlos bekommen.

-Eine Teilnehmerin erwähnte, dass man in Deutschland eine gesetzliche Krankenversicherung und zusätzlich auch private Versicherungen hat. Da gibt es einige Unterschiede, Patienten mit privater Zusatzversicherung werden bevorzugt behandelt, sagt man.

-Ein anderer Teilnehmer erwähnte, dass viele Ärzte in Japan viele Medikamente verschreiben, die meisten Patienten wünschen das auch. Bei einer Erkältung besuchen Deutsche oder Schweizer oft nicht sofort den Arzt, sondern versuchen, sich zuerst selbst zu behandeln. In Japan geht man eher gleich zum Arzt und lässt sich Medikamente verschreiben.

-Eine Teilnehmerin sprach von ihren persönlichen Erfahrungen in einem Krankenhaus in Deutschland. Als sie sich auf dem Untersuchungstisch legte, bemerkte sie zu ihrem

Schrecken, dass es um den Tisch herum keine Vorhänge gab und sie im offenen Raum lag. In Japan gäbe es das nicht.

-Die Mutter eines Teilnehmers ist 100 Jahre alt und besucht fast nie eine Klinik. Sie heilt sich mit Akupunktur oder Akupressur. Früher hatte man in Japan mehr Wissen um die eigene Gesundheit und wie man sich heilen kann. Leider haben viele heute diese Fähigkeit verloren, und laufen sofort zum Arzt.

-Eine weitere Teilnehmerin erzählte, dass sie nur selten eine Klinik besucht und dann auch immer Schwierigkeiten hat, eine passende zu finden.

-Eine Teilnehmerin berichtete von einem Zahnarztbesuch, der, obwohl es sich nur um Karies bei einem Zahn handelte, drei Tage dauerte. In Deutschland macht man so etwas normalerweise mit einer Behandlung.

Nächste Treffen:

Samstag 18. August 2018, 14 bis 16 Uhr, Thema: Die Liebe der Japaner zu Deutschland (Bitte Kleinigkeiten zum Essen mitbringen.)

Samstag 15. September 2018, 14 bis 16 Uhr, Thema: Astrologie

行事参加感想文

ドイツ映画を見る会に参加して～ゾフィー・シオル最後の日々

会員 林 典人

昨年6月ミュンヘン大学院生のベルガーさんのミニ講演があり、白バラグループのことにも触れられたのを機に、ドイツ語で書かれたものも含めてナチスへの抵抗運動について書かれた本を数冊読んでいたので、興味があつてこの映画会に参加しました。

映画が終わった時、周囲から「重たい映画だ」との声を耳にしました。シオル兄妹の逮捕、尋問、裁判で、あつという間に時間が過ぎましたが、中身の濃い内容であつたと思います。

ビラ配りが見つかれば処刑されるかも知れない恐怖を跳ね返し、ビラ作成や郵送にかかる膨大な労力や苦勞をしてまで、彼らを抵抗運動に向かわせたものは何だつたのでしょうか？彼らの家庭環境、キリスト教精神から来る精神の自由と良心の独立のほか、戦場を直接見た者の平和への使命感を、若さの純粋さが推し進めたのではないのでしょうか？

映画の後の討論会で話された中に、戦時中も戦後しばらくも、ドイツ国民のかなり多くがナチスを支持していた、という話がありました。杉谷先生の言葉も交えますと、過酷なベルサイユ体制から経済の再興とドイツ国民の自信回復に貢献したとして、ヒトラーとナチスに戦後も支持が残っていたようです。映画の中でも、シオル兄妹が期待した反戦決起が起こらなかつたのも、ひとつはそれが原因だつたのかも知れません。

ようやく70年代頃よりナチスの否定、戦争の謝罪賠償と社会が変わっていったのは、これも杉

谷先生の言葉を交えますと、ブラントのような亡命者帰国や元々のキリスト教の精神的支柱に加え、戦前のしがらみのない、戦後の人材だけで国が動かせる時代になったからではないかと思えます。

ナチスの法的正当性と現実社会の物質的幸福をゾフィーに説く尋問官の言葉は、私もつい説得させられてしまいそうでした。しかし、ゾフィーは反論します。「神は選択を許すが、ナチスは選択を許さない」。そこに、精神の自由と良心の責任を見る思いがしました。

白ばら

会員 細田 理瑠

調弦はすでにおわった
直線的な思想は鉤を拒み
ほろほろと繋がる衝の
玻璃の螺旋階段を駆け
無彩色の柱廊に爪立つ
闇は端麗に
掩蔽されており
善き人は
扇で口もとを隠し
歪んだ双眸を探す
左に餓えが
右には狂が
戦きは善き人の眸子に
嫋々たる睫毛を彫り
青い奔馬の
獣じみた吐息は
逃げ水に似て
ゆらめく

燠は
夕べに燃え
葬られた

それだけのことだ

残喘を告げる刃金に
agape は撞着し
雪色の矜持は
鮮血をはねつけ
鈍く横転する眦は
来し方を驚づかみ
あぁ ゾフィー
だから 何もないんだ

蒼穹は惚けたように
座視したままで

シリーズ 「ドイツ、わが愛」

第11回 「これからのドイツ代表のために」

会員 北川 玉恵

ロシアで行われたフットボールの祭典、「FIFAワールドカップ2018」はフランスの20年ぶりの優勝で幕を閉じました。日本代表の健闘もあり、国内でも大きく話題をさらった今大会ですが、強

豪国の敗退など予想外の展開が目立ち、まさに新たな時代の幕開けを象徴する大会となりました。そんな中で、最も衝撃的な出来事が、前回大会王者ドイツ代表の早期敗退です。

初戦のメキシコ戦に敗れたドイツ代表。スウェーデン戦の劇的な勝利で望みを繋ぐものの、韓国との試合に敗れ、あえなくグループステージ敗退が決まりました。西ドイツ時代を含め、史上初のグループステージ敗退です。大会前も不調だったとはいえ、この結果は世界中の誰もが予想していなかったことでしょう。

メディアでは「リーダーの不在」や「モチベーションの不足」など、様々な要因が挙げられています。不調の選手を起用せざるをえなかったり、自分のことで必死だった選手が多かったり…詳細な分析は専門家に任せましょう。

敗退という結果が現実となるまで、ドイツ代表のメンバーはおそらく楽観的だったのだらうと思います。これまで自分たちは不屈の精神で苦境を乗り切ってきたから、今回もきっと最後は切り抜けるはずだと。しかし現実にはそうはなりませんでした。

ドイツ代表を応援していた私にとって、この敗退はショッキングなものでした。しかし、弱小国が強豪国に勝つこともあります。そして予想もしない悔しい出来事をバネに、強くなっていくチームもあります。それがフットボールなのです。かつてドイツ代表もなかなか勝てない現実を見つめなおし、育成の強化へと目を向け、そしてワールドカップを掲げたではありませんか。

私がフットボールを好きな理由、それは「未来があるということ」です。今回の敗退は、これからのドイツ代表がより強くなるための必然的な出来事だったのだと思います。この悔しさをバネに、次回大会ではより強くなったドイツ代表を応援したいと思います。Gib dein Bestes!

神戸倶楽部オクトーバーフェストのご案内

協会のクリスマス祝賀会などで利用させていただいている神戸倶楽部で「オクトーバーフェスト」が開催されます。ドイツ人会員による楽しい音楽やパーティーゲームなどが予定されています。

「ドイツビアフェスト」で味わったビールとビアソングとシュンケルンの感激をもう一度！

神戸倶楽部ご自慢の料理を味わいながら、神戸倶楽部会員の方々と「オクトーバーフェスト」を堪能しましょう

日 時： 2018年9月16日(日)19:00～

会 場： 神戸倶楽部 (Kobe Club)
神戸市中央区北野町4丁目15-1

会 費： 倶楽部会員 4000円 非会員 4500円

申込・問合せ： 9月9日(日)まで神戸倶楽部 TEL 078-241-2588(代)

E-mail: kobclub@office.email.ne.jp

実行委員として神戸日独協会の活動に参加しませんか

神戸日独協会の主要な年間の活動は総会及び理事会によって決定されますが、日頃の活動は実行委員及び会員によって行われています。実行委員は定款上の役職ではなく、会員のボランティアによるものです。毎月第3日曜日に実行委員会を開催し、会員の方々が希望するあるいは実行委員のアイデアによる催し物を企画し、準備し、実行しています。神戸日独協会は会員の皆様の積極的なご支援を必要としています。

次回の実行委員会は8月19日(日)15時より協会会議室にて開催しますので、奮ってご参加ください。

事務室からのお知らせ

協会事務室お盆休み閉室のお知らせ

神戸日独協会はお盆休みのため、8月13日(月)～8月17日(金)の間事務室を閉室いたします。なお、この間ドイツ語講座とドイツ文化教室もお休みになります。

Das Büro der JDG Kobe ist von 13. bis zum 17. August 2018 wegen der Sommerferien geschlossen.

会報発送ボランティア募集

会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の発送予定日は9月13日(木)です。お手伝いいただける方は、事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越しください。

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込×切 など
8月18日(土) 14:00～	第177回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室	当日参加可
8月19日(日) 15:00～	実行委員会	神戸日独協会 会議室	当日参加可
9月9日(日) 13:00～	第2回ドイツ家庭料理講習会	うはらホールの 料理教室	8月27日(月)まで

臨時休講等の措置について

警報発令・JR運休の場合、ドイツ語講座・文化教室の臨時休講、および催しの中止(または延期)の措置を取ります。

① 気象警報発令による休講

各々、以下の時点で、兵庫県南部・阪神地区に「暴風(雨)警報」「大雨警報」が発令されている場合は休講します。

オペラ教室・マーレライ教室	7時
ドイツ語L2クラス	13時
ドイツ語G1・L1クラス	14時
18時以降のドイツ語クラス	15時

② JR西日本の運休による休講

三ノ宮区間を含むJR西日本で運転が見合されている場合は休講します。
私鉄・地下鉄は含みません。

③ 催しの中止(延期)

開始時刻3時間前の時点で、兵庫県南部・阪神地区に「暴風(雨)警報」「大雨警報」が発令されている場合は、中止あるいは延期します。

※講座・教室が休講した場合は、後日、補講を行います。

※講座・教室および催しにご参加の際には、必ず事務室に緊急連絡先をお知らせください。